

資料2 射水市×トヨタモビリティ富山 超小型EV『C⁺pod(シーポッド)』を活用した実証実験を行います

本市では、本年2月に2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「射水市ゼロカーボンシティ」を宣言し、カーボンニュートラル実現に向けた取組を推進しています。

この度、トヨタモビリティ富山株式会社と連携・協力し、超小型EV『C⁺pod』を活用した実証実験を行い、公務における超小型EV車両導入に伴う効率的な活用方法や温室効果ガス排出量の削減効果について検証します。

1 実証実験の内容

- (1) 期間 令和5年8月1日(火)～12月28日(木)
- (2) 車両 超小型EV『C⁺pod』1台(トヨタモビリティ富山㈱から無償貸与)
 - ・乗車定員2名
 - ・最小回転半径3.9m
 - ・バッテリー容量9kWh
 - ・走行距離150km(充電1回当たり)
 - ・最高速度60km/h
 - ・充電時間約16時間(充電方法AC100V・コンセントで充電可能)
 - ・アクセサリコンセント(AC100V・1500W・外部給電可能)
- (3) 用途 職員の庁舎間移動、訪問事業(家庭・事業所)

2 期待される効果

- (1) 温室効果ガス排出量の削減による脱炭素社会の実現
- (2) 訪問事業における狭隘道路の通行や狭小敷地への駐車
- (3) 非常時における電源確保



記者会見後、庁舎東側出入口にて、スタートアップセレモニーを行います。